作成：平成１８年０９月０１日
改定：平成２１年０９月１８日
MSDS　No. U0047-1

製品安全データシート

１．化学物質等及び会社情報

製　品　名	アスベストワカール・プロ　溶解液
製 品 説 明	アスベスト簡易測定試薬
会　社　名	株式会社　ユニケミー
住　　所	〒456-0034　名古屋市熱田区伝馬１－１１－１
担 当 部 門	技術部
電 話 番 号	(052)682-5069　　FAX 番号　(052)681-8646
緊急連絡先	同　　上

２．危険有害性の要約

塩酸（塩化水素）

GHS 分類

物理化学的危険性

可燃性／引火性ガス	区分外
支燃性／酸化性ガス類	区分外
高圧ガス	区分外
金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分３
急性毒性(経皮)	区分外
急性毒性(吸入：ガス)	区分３
急性毒性(吸入：蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入：粉塵，ミスト)	区分２
皮膚腐食性／刺激性	区分 1A－1C
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分１
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性：区分１ 皮膚感作性：区分外
生殖細胞変異原生	分類できない
発がん性	区分外
生殖毒性	分類できない
標的臓器／全身毒性(単回暴露)	区分１(呼吸器系)
標的臓器／全身毒性(反復暴露)	区分１(歯，呼吸器系)

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性)	区分１

水生環境有害性(慢性)　　区分外

ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語

危険

危険有害性情報

飲み込むと有害

吸入すると有害

吸入すると生命に危険

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

重篤な眼の損傷

吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ

臓器(呼吸器系)の障害

長期または反復暴露による臓器(歯，呼吸器系)の障害

水生生物に非常に強い毒性

フッ化水素酸

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体	区分外
自然発火性液体	区分外
自己発熱性物質および混合物	区分外
酸化性液体	区分外
金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入：蒸気)	区分３
急性毒性(吸入：粉塵，ミスト)	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	区分１A-1C
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分１
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性：分類できない
	皮膚感作性：区分１
生殖細胞変異原生	区分２
発がん性	分類できない

生殖毒性	分類できない
標的臓器／全身毒性(単回暴露)	区分１(呼吸器，膵臓)
標的臓器／全身毒性(反復暴露)	区分１(骨，歯，下垂体，甲状腺，腎臓，神経系，肝臓，精巣，気管支)
吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性)	区分３
水生環境有害性(慢性)	区分外

ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語

危険

危険有害性情報

吸入すると有毒

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

重篤な眼の損傷

アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ

遺伝性疾患のおそれの疑い

臓器(呼吸器，膵臓)の障害

長期ないし反復暴露による臓器(骨，歯，下垂体，甲状腺，腎臓，神経系，肝臓，精巣，気管支)の障害

水生生物に有害

注意書き

安全対策

取り扱い注意事項をよく読み，理解してから取り扱う。

粉じん，ミスト，蒸気などを吸入しない。

換気の良い場所でのみ使用する。

この製品を使用する時に，飲食又は喫煙しない。

適切な保護手袋，保護眼鏡，保護衣，保護面，保護マスクなどを着用する。

取扱い後はよく手を洗う。

救急処置

吸入した場合；新鮮な空気の場所に移し，安静保温に努め、医師の処置を受ける。

飲み込んだ場合；口をすすぐ。大量の水を飲ませ薄める。無理に吐かせない。直ちに医師の処置を受ける。

眼に入った場合；水で注意深く 15 分間洗い流す。医師の処置を受ける。

皮膚に付着した場合；汚染された衣類および付着物を取り除く。皮膚を大量の水で洗う。
医師の処置を受ける。

保管

容器は密閉して冷暗所で保管する。施錠して保管する。

廃棄

内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。

３．組成，成分情報

単一製品・混合物の区別　　混合物

成　分　名 :	塩　酸	フッ化水素酸
含　有　量 :	0.5～9%	2～10%
化学式又は構造式 :	HCl	HF
官報公示整理番号(化審法) :	1-215	1-306
ＣＡＳ　Ｎｏ． :	7647-01-0	7664-39-3
国　連　分　類 :	クラス８(腐食性物質)　等級Ⅱ	クラス８(腐食性物質)　等級Ⅱ
国　連　番　号 :	1789	1790

４．応急措置

眼に入った場合　　水で注意深く 15 分間洗い流す。医師の処置を受ける。

皮膚についた場合　直ちに皮膚を大量の水で洗う。医師の処置を受ける。

吸入した場合　　新鮮な空気の場所に移し，安静保温に努め、医師の処置を受ける。

誤飲した場合　　大量の水を飲ませ薄める。無理に吐かせない。直ちに医師の処置を受ける。

５．火災時の措置

消火方法　　①速やかに容器を安全な場所に移す。

②移動不可能な場合は、火災にさらされた表面及び周囲に散水して冷却する。

③適切な保護具(耐熱着衣)を使用する。

④消火作業は風上から行なう。

消火剤　　水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂などの消火剤を使用する。

６．漏出時の措置

①作業の際には適切な保護具(手袋、保護メガネ、防毒マスク)を着用し、漏洩した液が皮膚に付着したり、蒸気を吸入しないようにする。

②風上から作業し、風下の人を退避させ、他漏洩した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

③漏洩した液は、土砂等に吸着させ、空容器に回収する。漏洩した場所は水酸化カルシウム、又は炭酸ナトリウム水溶液を散布して中和した後、水で充分に洗い流す。

④回収物等は、関係法規に基づき処置をする。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い　　①皮膚に触れたり、目に入らぬよう適切な保護具を必要に応じて使用する。

②屋内作業場の場合、適切な排気装置を設け、換気を良くして取り扱う。

保　管	①密栓して冷暗所に保管する。 ②金属及びガラス製の容器は使用しない。 ③アルカリ性物質と一緒に保管しない。

8．暴露防止及び保護措置

管理濃度	ふっ化水素酸：2ppm
許容濃度	塩　　酸：5ppm、7.5mg/m³(日本産業衛生学会,2002 年) 5ppm、7.5mg/m³:TLV－STEL (ACGIH,2002 年) ふっ化水素酸：3ppm、2.5mg/m³(日本産業衛生学会,2002 年) 3ppm、2.6mg/m³:TLV－TWA (ACGIH,2002 年)
設備対策	必要に応じて局所排気装置を設ける。
保 護 具	防毒マスク、保護服、保護メガネ、ゴム手袋等

9．物理的及び化学的性質

外　　観	淡黄色又は無色液体
臭　　気	刺激臭
沸　　点	約 100℃
比　　重	1.04(20℃)
溶 解 度	水：自由に混合

10. 安定性及び反応性

安定性	通常条件で安定である。
反応性	アルカリ性物質と激しく反応し、塩化物、臭化物、硫化物などとも反応する。
その他	日光、熱を避けて保管する。

11. 有害性情報

刺激性(皮膚、目)	目に入ると結膜や角膜が腐食され、視力低下や失明することがある。 皮膚に接触すると、数時間後に障害が現れ、激しい痛みを感じることがある。
急性毒性	蒸気を吸入すると、のど、気管支などを強く刺激し、肺水腫、気管支炎を起こすことがある。 塩酸：ヒト(吸入):LC50=1300ppm/1H ふっ化水素酸：ヒト(吸入):LCL0=50ppm/30M
慢性毒性	データ無し。
変異原性	塩酸：染色体異常；ハムスター(生体外)；陽性 ふっ化水素酸：染色体異常；ラット(生体内・吸入)；陽性
生殖毒性	データ無し。
催奇形性	データ無し。

12. 環境影響情報

移動性	データ無し。

残留性/分解性　　データ無し。

生体蓄積性　　データ無し。

環境影響/生態毒性

水生生物に対して有害である。

13. 廃棄上の注意

①徐々に水酸化カルシウムなどの溶液に加え、中和した後沈殿をろ過する。沈殿は埋め立て処分する。
　または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。

②空容器を廃棄する場合は内容物を完全に除去した後に、産業廃棄物処理業者に委託処理する。

14. 輸送上の注意

国内規制

船舶安全法　　塩酸：危規則第３条危険物告示別表第３　腐食性物質

ふっ化水素酸：危規則第３条危険物告示別表第１　腐食性物質

航空法　　塩酸：施行規則第 194 条危険物告示別表第 11　腐食性物質

ふっ化水素酸：施行規則第 194 条危険物告示別表第１　腐食性物質

国連分類　　塩酸、ふっ化水素酸：クラス８(腐食性物質)　等級Ⅱ

国連番号　　塩酸：1789　　ふっ化水素酸：1790

輸送の特定の安全対策及び条件

運搬に際しては直射日光を避け、容器に漏れのないことを確認して転倒・落下・損傷がないよう、積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

化学物質管理促進法（ＰＲＴＲ）　　非該当

毒物及び劇物取締法　　毒物

労働安全衛生法　　政令別表第３　特定化学物質等障害予防規則(第２類物質)

施行令第 18 条の２　名称等を通知すべき有害物(政令第 99、485 号)

水質汚濁防止法　　施行令第２条　有害物質

16. その他

記載内容の問い合わせ先

（株）ユニケミー　技術部　TEL 052-682-5069

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、製品を取り扱う事業者に提供されるものです。この製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありません。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。また、含有量、物理的及び化学的性質、危険有害性などの記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。